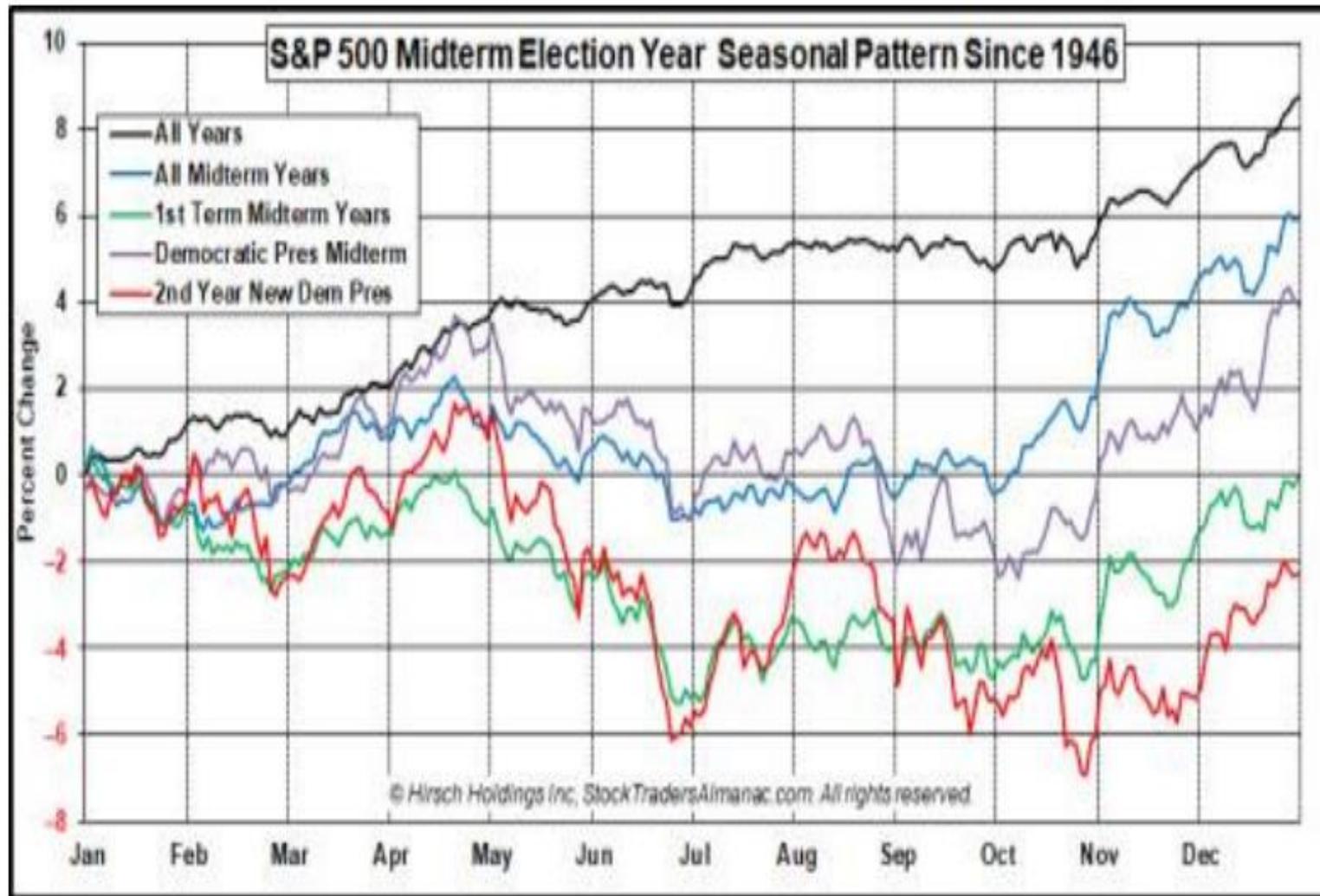


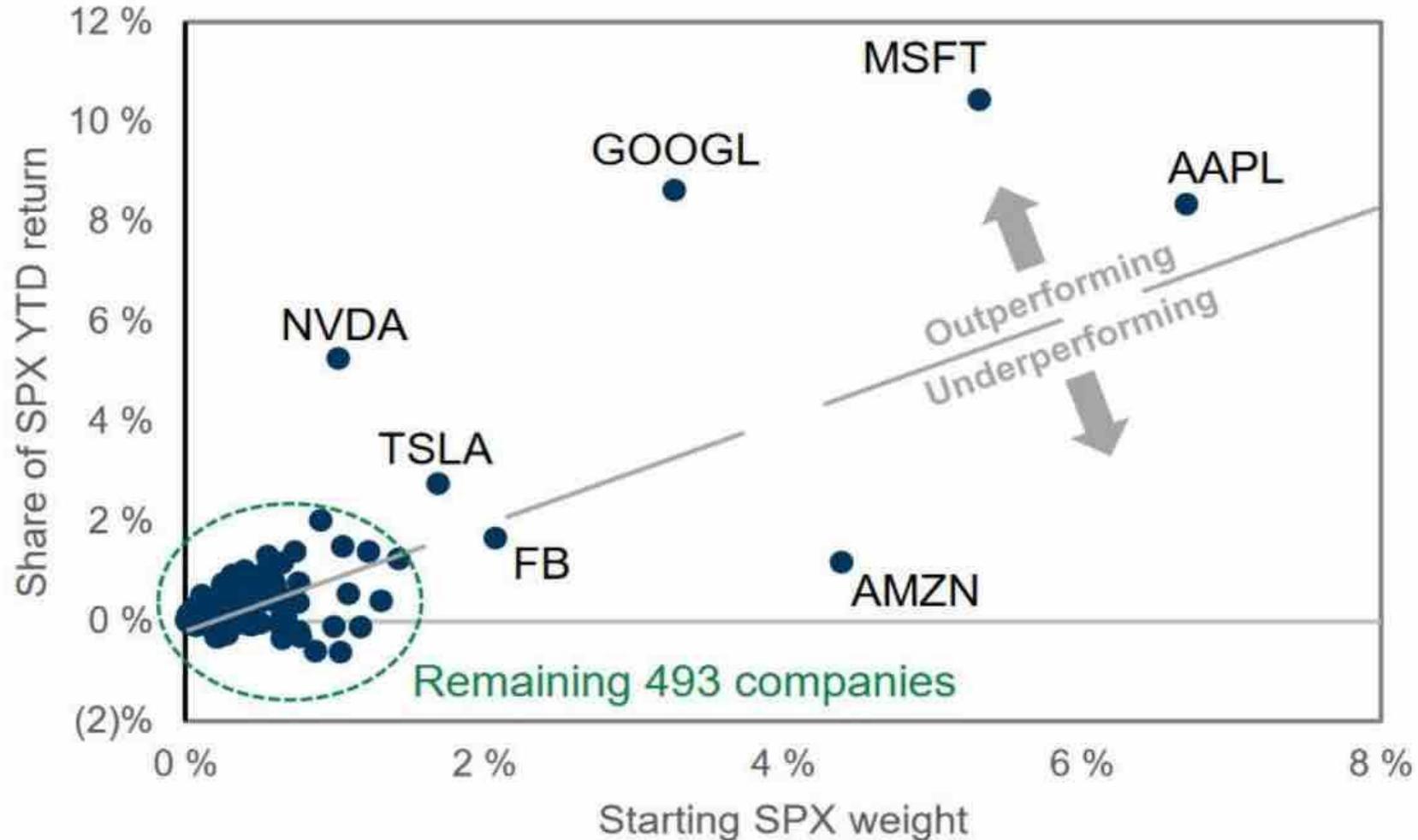
1949 年以降、S&P500 の中間選挙年のシーズナルパターン



Morgan Stanleyは市場の行く末について、はるかにネガティブな見方をしている（ゴールドマンの目標株価5,100に対して2022年末までに4,400まで下落）が、同行はゴールドマンの「悲惨な横ばい観」に同意している。

5銘柄でS&P500のリターンの3割以上を占めている（米国株は7銘柄の成績）

Exhibit 2: 35% of the S&P 500's YTD return has come from five stocks as of December 9, 2021



出所：ゼロヘッジ

米10年国債金利 (週足)



出所：筆者作成

アップルとアマゾンの日足



出所：パンローリングカスタムチャート・石原順インディケーター

メタとアルファベットの日足



出所：パンローリングカスタムチャート・石原順インディケーター

マイクロソフトとテスラの日足



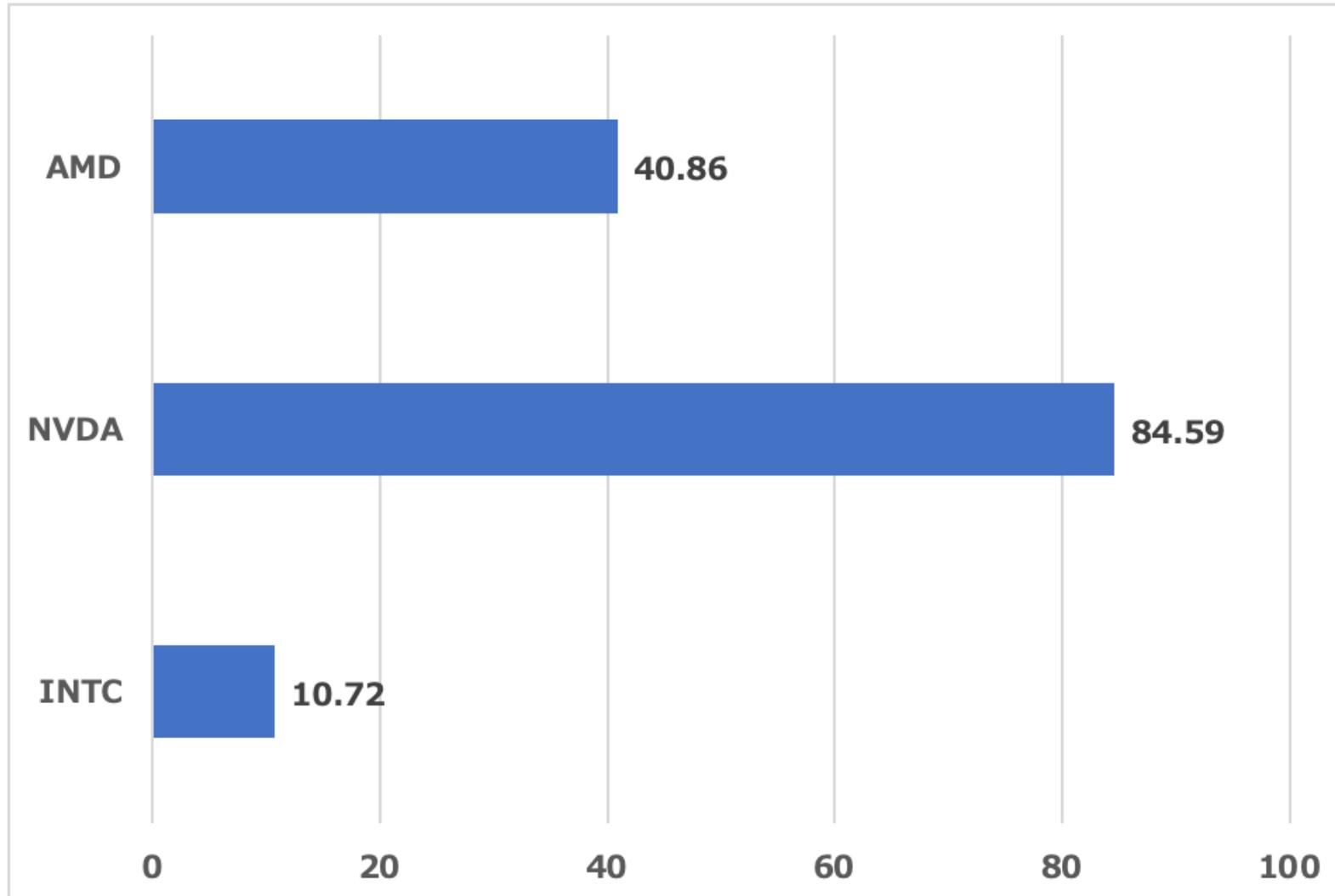
出所：パンローリングカスタムチャート・石原順インディケーター

エヌビディアとナスダック100先物の日足



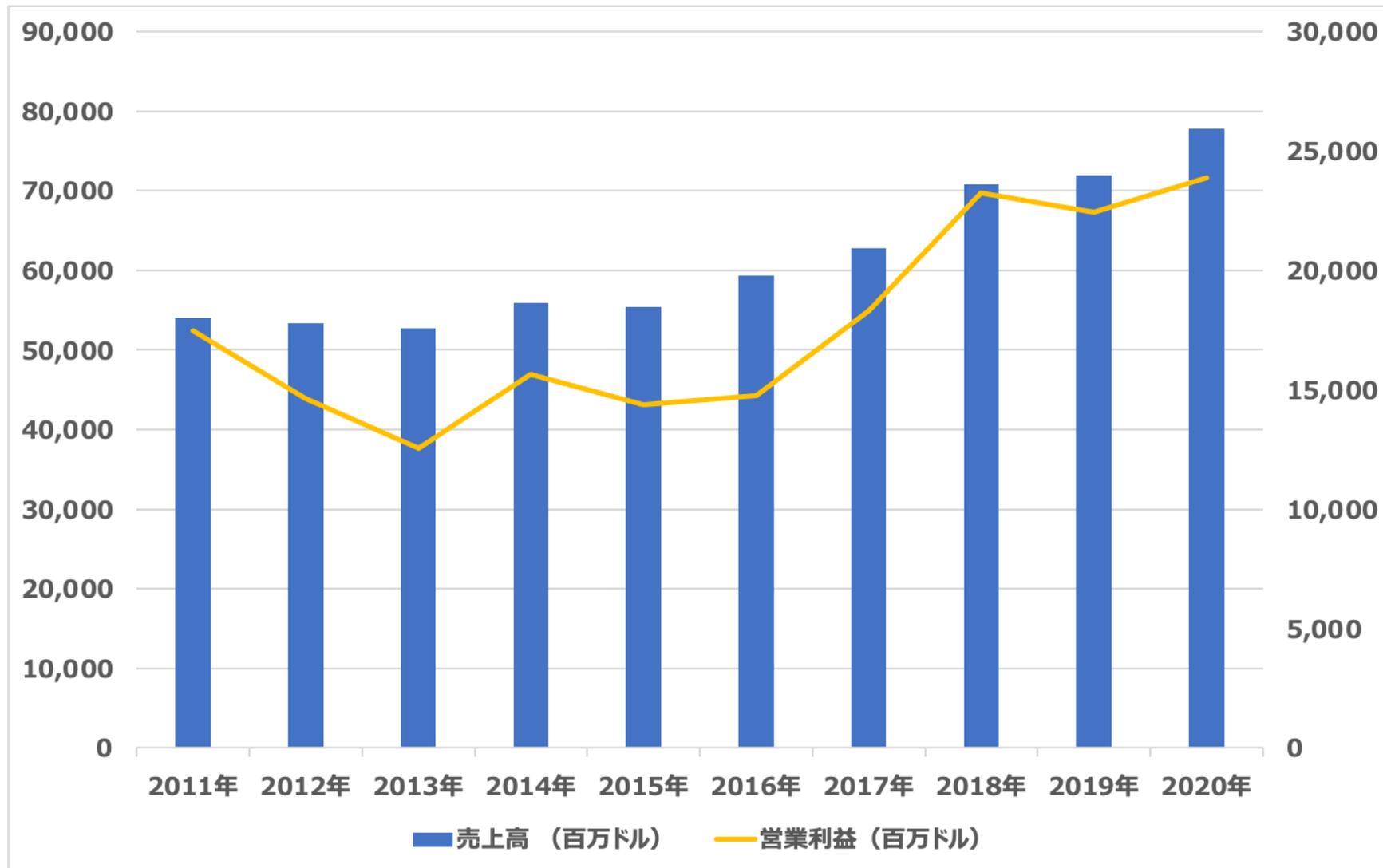
出所：パンローリングカスタムチャート・石原順インディケーター

インテル、エヌビディア、AMDのPER（単位：倍）2022年1月10日時点



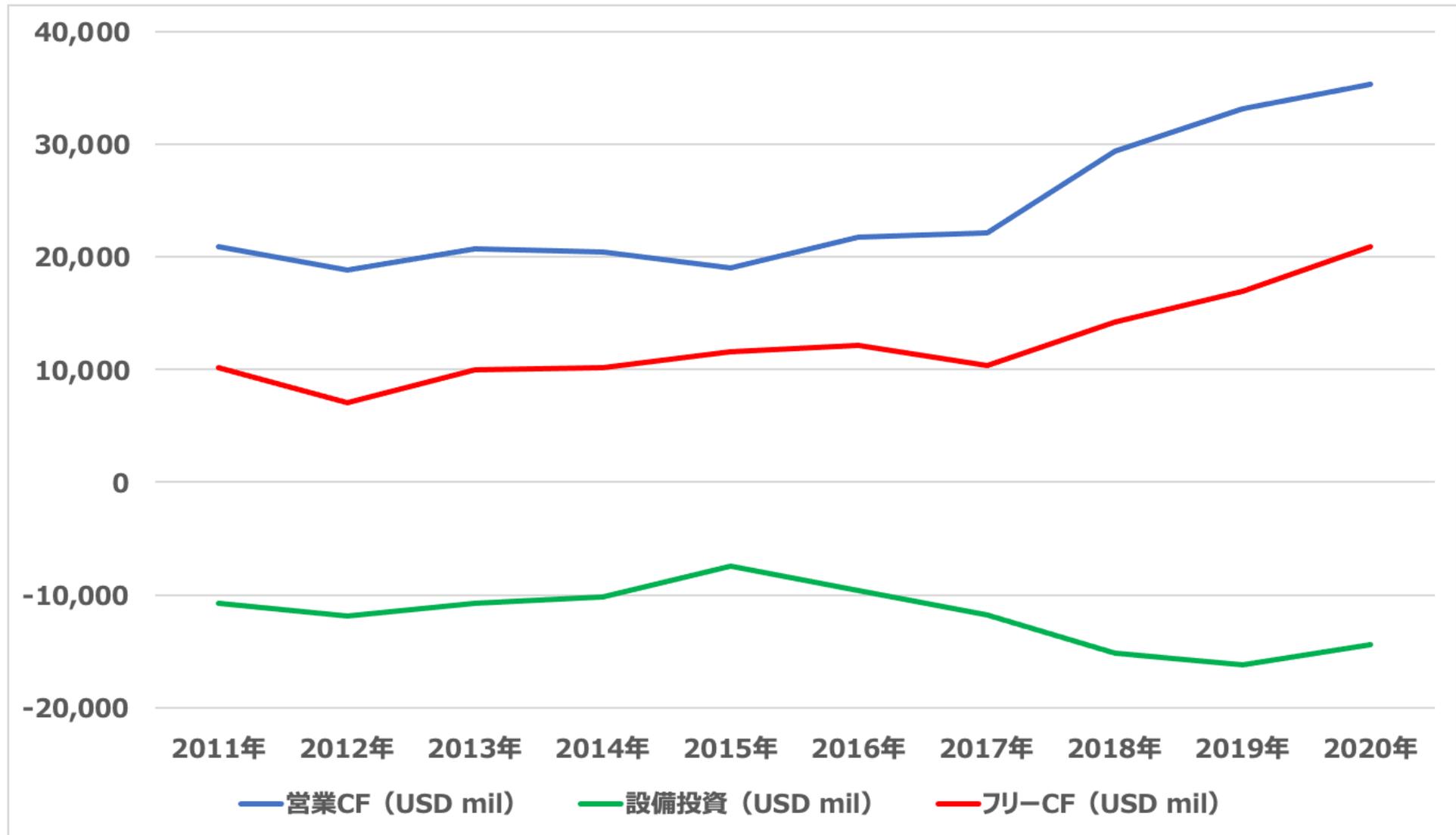
出所：筆者作成

インテルの売上高と営業利益の推移



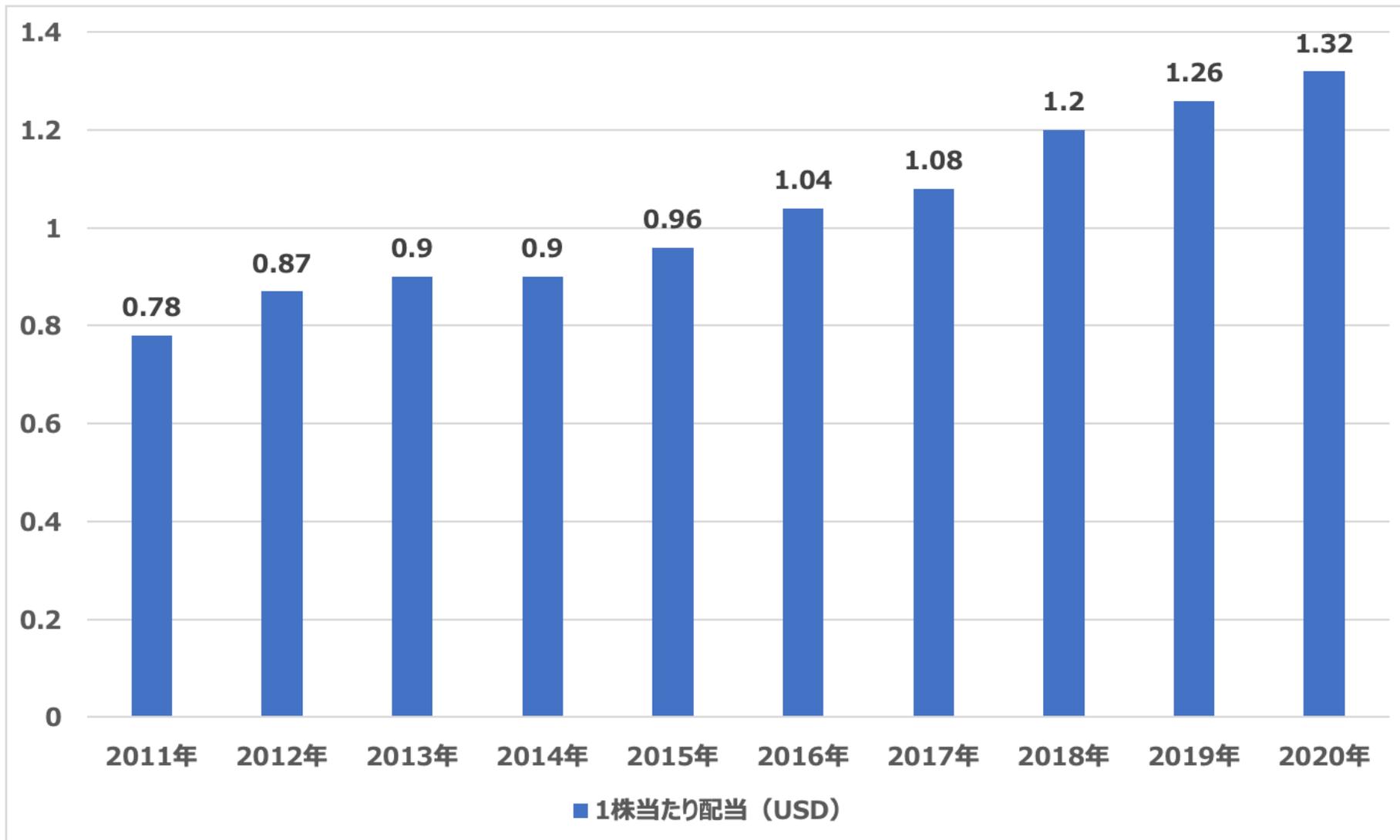
出所：筆者作成

インテルのキャッシュフロー



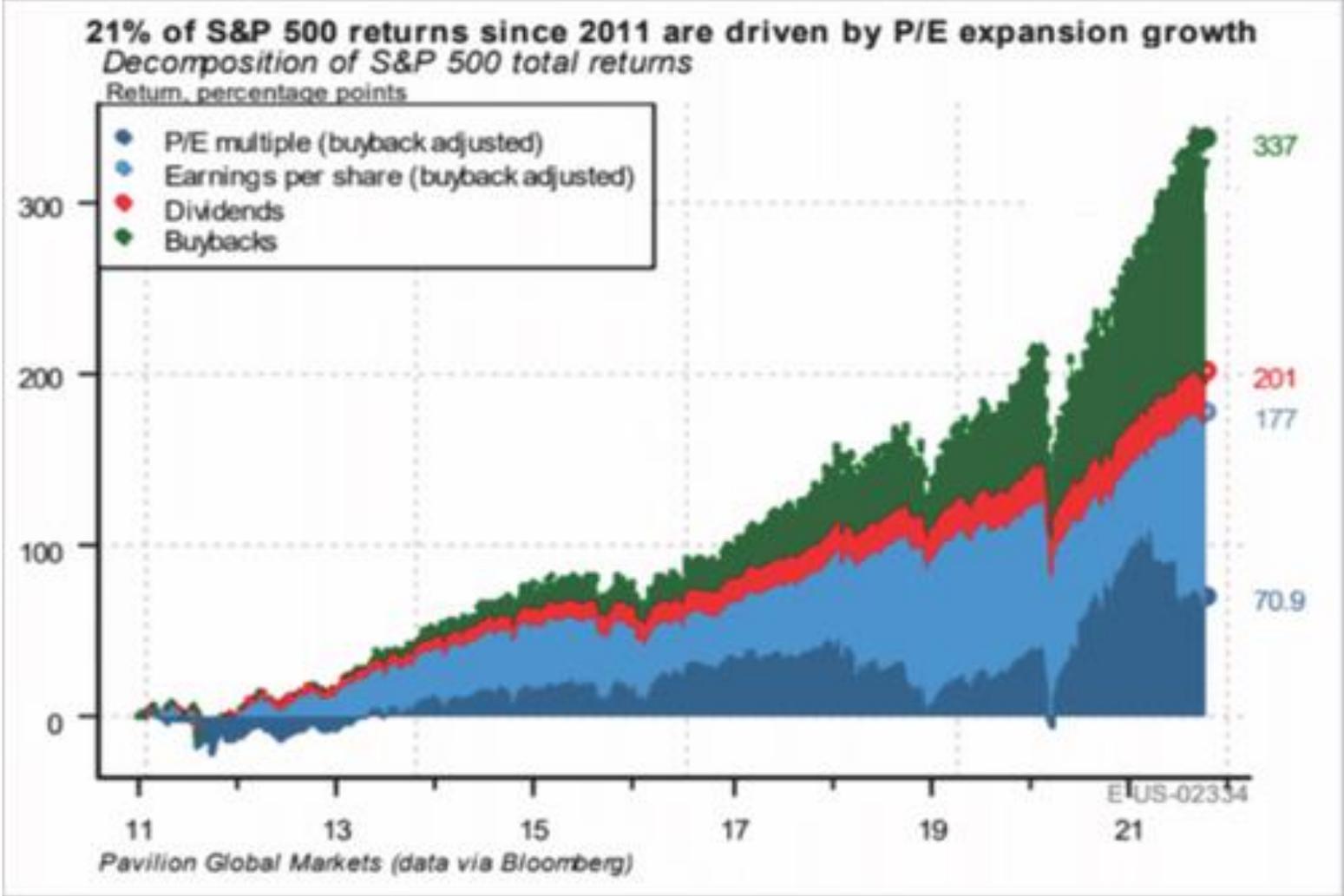
出所：筆者作成

インテルの一株当たり配当



出所：筆者作成

過去 10 年間の自社株買いが市場に与えた影響：40.5%が自社株買いによるもの



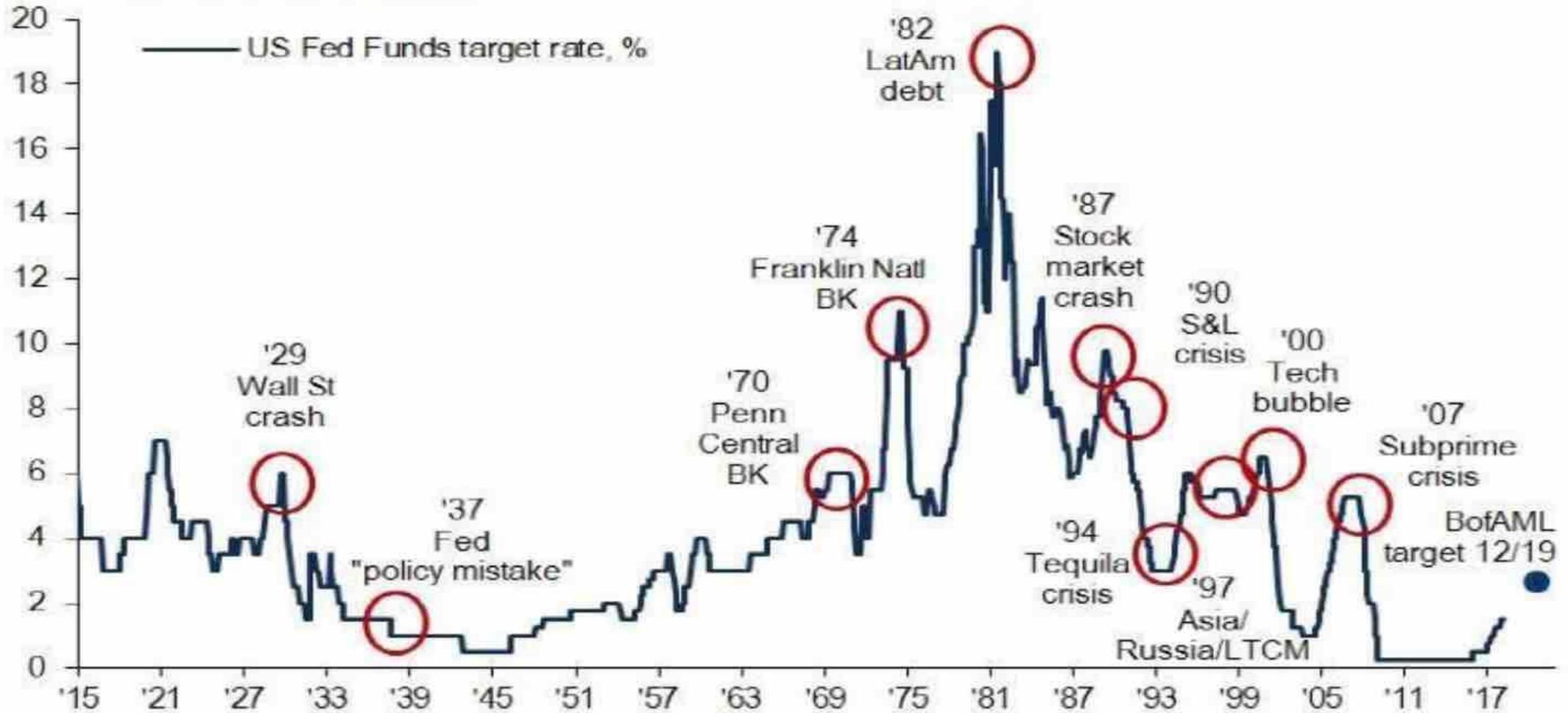
2020年3月以降にあった多くの追い風が、今後は逆風になることだ。重要なのは、不経済な自社株買いを行った企業は、財務上の損失、負債の増加、将来の成長機会の減少に直面することである。

株価上昇に賭ける投資家にとって最も大きなリスクは、FRBではない。むしろ、「自社株買い」の逆転現象である。

出所：ゼロヘッジ

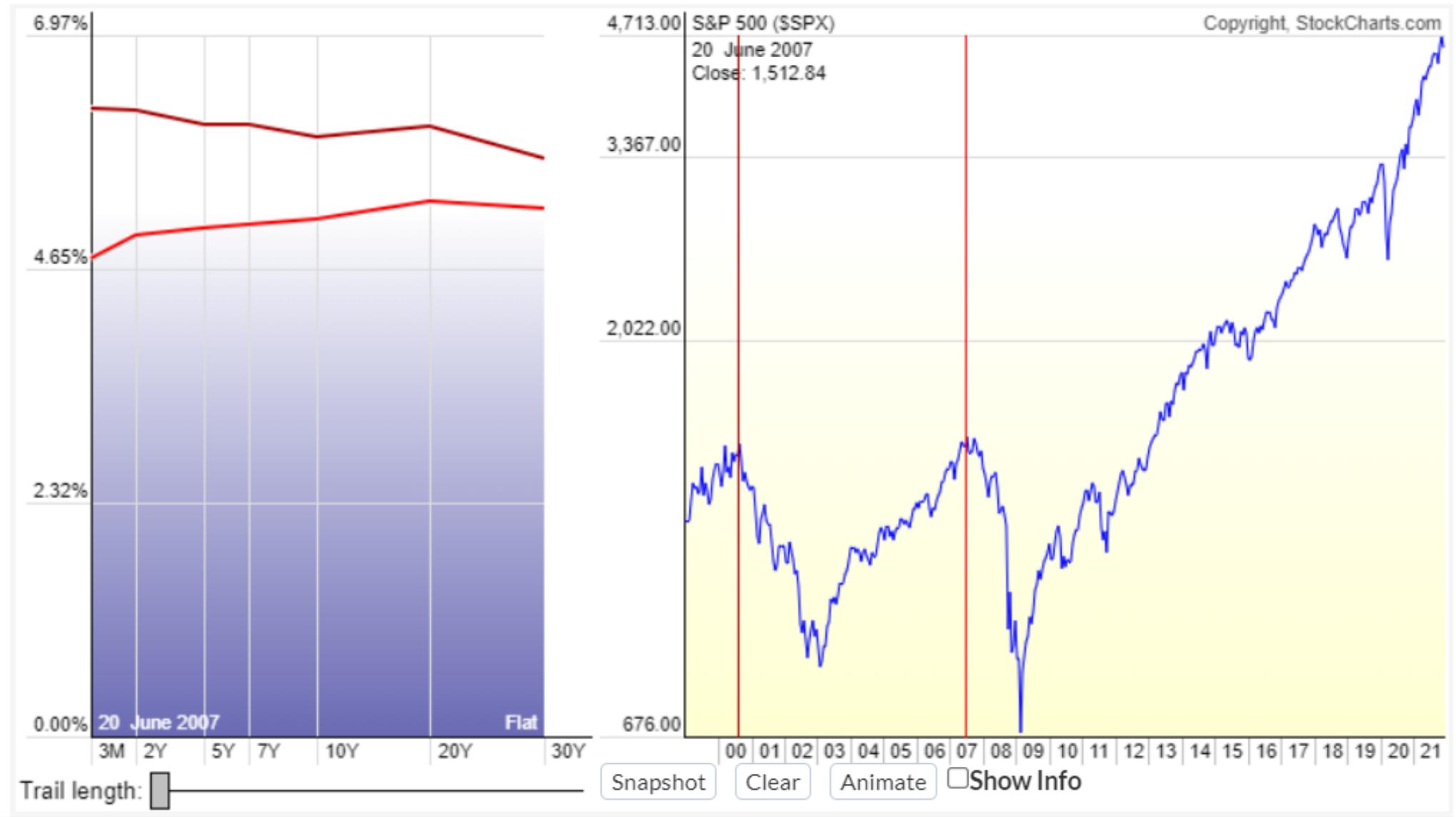
FRBの金融引き締めとバブル崩壊

Chart 25: How Fed tightening cycles end



Source: BofA Merrill Lynch Global Investment Strategy, Bloomberg

ドットコムバブル崩壊とリーマンショック直前の米国のイールドカーブ (2000年・2008年)



出所：ストックチャーツ

2022年1月12日現在の米国のイールドカーブ

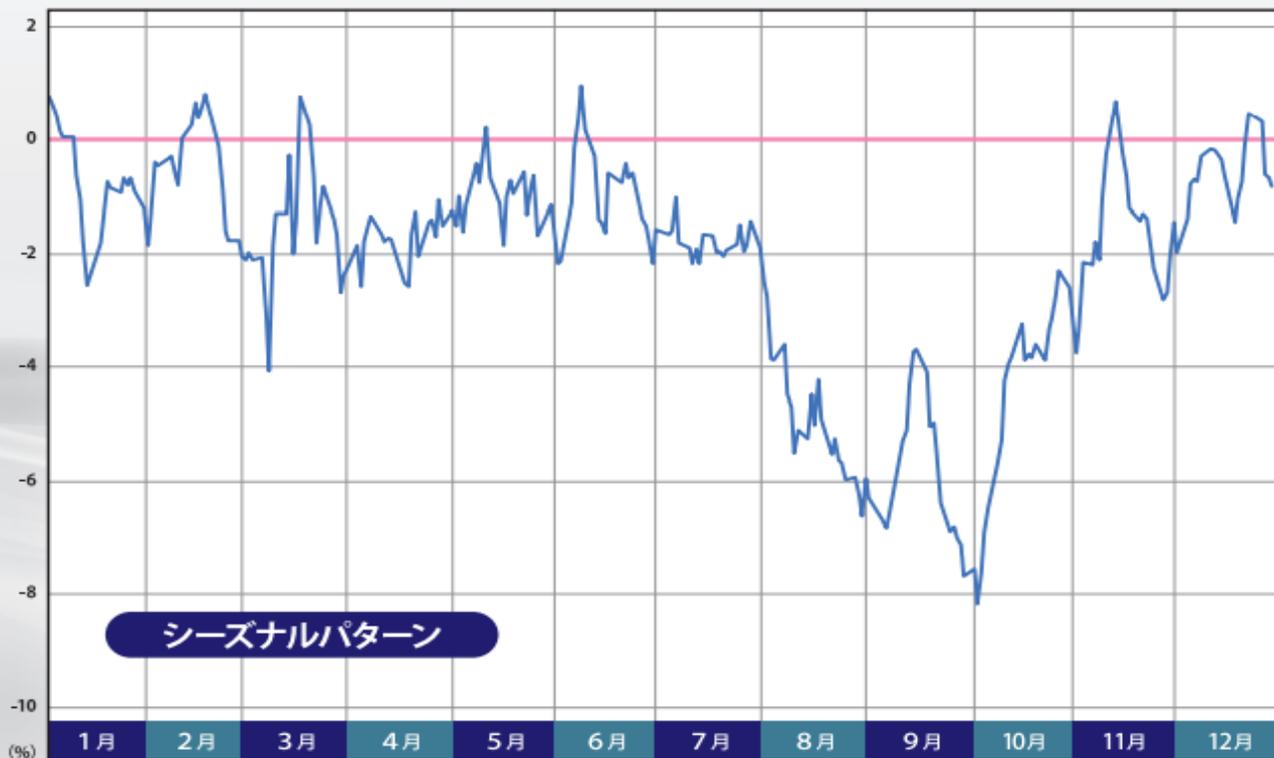


出所：ストックチャーツ

米10年国債金利のシーズナルパターン 株の調整は？ 景気後退はいつ！？

米国債10年利回り指数 6月から9月まで米債利回りは低下基調で、10月から翌年3月中旬まで米債利回りは上昇基調。

変化率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20年												
平均%	-1.54%	-1.06%	-1.18%	0.62%	-0.84%	0.45%	-1.37%	-3.83%	-0.46%	4.02%	0.62%	1.55%
勝敗	9勝11敗	8勝12敗	12勝8敗	10勝10敗	10勝10敗	12勝8敗	6勝14敗	4勝16敗	10勝10敗	14勝6敗	10勝10敗	11勝9敗
10年												
平均%	-4.75%	-0.60%	-3.88%	-2.74%	-1.78%	1.79%	-3.59%	-1.86%	1.56%	5.83%	2.46%	2.01%
勝敗	4勝6敗	5勝5敗	5勝5敗	4勝6敗	4勝6敗	8勝2敗	4勝6敗	4勝6敗	6勝4敗	8勝2敗	5勝5敗	6勝4敗
5年												
平均%	-4.86%	-6.24%	-9.84%	-0.55%	-3.45%	-3.79%	-3.06%	0.03%	5.65%	9.51%	5.88%	1.73%
勝敗	2勝3敗	2勝3敗	2勝3敗	3勝2敗	2勝3敗	3勝2敗	2勝3敗	2勝3敗	4勝1敗	5勝0敗	3勝2敗	3勝2敗



出所：投資アナリーカレンダー2022（パンローリング）